

平成29年度（2017年度）

帝京大学産業保健高度専門職養成の
大学院プログラム

受講生募集要項



目 次

1. 事業概要	1
2. 募集定員	1
3. 募集対象	1
4. 受講期間	2
5. 受講について	2
(1) 授業科目	
(2) 修了要件	
6. 出願について	3
(1) 募集期間	
(2) 出願書類	
(3) 出願方法	
7. 選考および結果の通知	4
8. 受講手続きについて	4
9. 納入金	4
10. 授業科目の概要	4

(別紙1) 志願票

(別紙2) 志望理由書

【お問い合わせ先】

帝京大学 板橋キャンパス事務部教務課 (公衆衛生学研究科担当)

住 所 〒173-8605 東京都板橋区加賀2-11-1

電 話 03-3964-3294(直通)

Fax 03-3964-8396

メール oh-pro@med.teikyo-u.ac.jp

受付時間 平日: 8:45~16:45 土曜日: 8:45~12:00

※ 日曜・祝日および年末年始(12/29~1/3)は除く

1. 事業概要

産業構造・雇用構造の変化を受け、高度な能力を持つ産業看護職（保健師・看護師）あるいは専門性を持った産業医の不足が指摘されている。特に出産・育児期間を経た産業看護職あるいは医師の再教育の充実が求められ、今後新たな人材需要が望まれている。本プログラムは、「医療・福祉・健康分野」で、産業看護職、産業医、安全管理者・衛生管理者等の「学び直し」や「リフレッシュおよびキャリアアップ」に力点を置き、社会人等を対象とした学習プログラムとして、産業保健分野の高度人材の養成を目的とする。

高度な行動特性・問題解決能力を身に付けることを重視したコンピテンシー基盤型教育（CBE）に基づき、様々な産業保健上の諸課題に対して、指導的立場でかつ科学的判断に基づく問題解決型の対処ができ、その活動を統括指導できる産業保健の高度な実践能力とリーダーシップを併せ持つ高度専門職業人の養成を目指す。

なお、本プログラムは、文部科学省による「高度人材養成のための社会人学び直し大学院プログラム」事業（平成26～28年度）の継続として行うもので、「履修証明プログラム」および「職業実践力育成プログラム（BP）」に認定されている。

「履修証明プログラム」および「職業実践力育成プログラム（BP）」とは

平成19年の学校教育法の改正により、大学等における「履修証明制度」が創設された。これは、社会人等の学生以外の者を対象とした一定のまとまりのある学習プログラム（履修証明プログラム）を受講することにより、キャリアアップ、専門性の向上、再就職、資格試験の勉強などに活用できる制度である。学位取得に比べより短期間で修得することができるという利点があり、修了要件を満たした場合には、学校教育法に基づき本学より「履修証明書」を交付する。また、「職業実践力育成プログラム」（BP）は、平成27年度に創設された制度で、大学、大学院、短期大学及び高等専門学校における社会人や企業等のニーズに応じた、主に社会人を対象とした実践的・専門的なプログラムとして、文部科学大臣により認定される。

2. 募集定員

10名程度

3. 募集対象

以下の産業保健関係の資格取得者。なお、実務経験のある者が望ましい。

<産業保健関係資格>

産業看護職（保健師・看護師）／労働衛生コンサルタント／産業医／労働安全コンサルタント／作業環境測定士／安全管理者／衛生管理者／臨床心理士／産業カウンセラー 等
(注意事項)

- ・ 上記に該当しない資格で受講を希望する場合は、事前に問い合わせること。

4. 受講期間

受講期間は1年間または2年間とする。出願時に1年間または2年間のどちらかの希望を提出すること。

なお、2年間であっても、修了要件を満たした場合、1年間で修了とする。また、1年間であっても、修了要件を満たしておらず、かつ大学が認めた場合、受講期間を2年間に延長することができる。

5. 受講について

(1) 授業科目（予定）

区分	授業科目	授業形態	コマ数	時間数
必修 科目	疫学概論	講義	15	90時間
	産業保健学	講義	15	
	産業環境保健学実習	実習	15	
	実践報告	実習	15	
選択 科目	基礎生物統計学	講義・演習	15/8	22.5/12時間
	産業環境保健学概論	講義・演習	8	12時間
	産業中毒学	講義・演習	8	12時間
	リーダーシップ・マネジメント論	講義・演習	8	12時間
	健康教育学	講義・演習	8	12時間
	メンタルヘルス専門職のスキルアップ	講義（集中）	8	12時間
	労働衛生技術の能力育成	講義（集中）	8	12時間
	産業看護職マネジメント能力育成	講義（集中）	8	12時間
	産業環境保健学	講義（集中）	8	12時間
	産業保健統括管理学	講義（集中）	8	12時間
	特別セミナー（イブニングセミナー）	講義	8	12時間

都合により変更となる場合がある。科目の詳細は、「10. 授業科目の概要」参照。

(2) 修了要件

①必修科目4科目（実践報告を含む）及び選択科目4科目以上の合計138時間以上を受講すること。

②必修科目の実践報告において、研究報告が基準レベルを達成すること。

上記①、②を満たした場合に、学校教育法に基づく履修証明書を交付する。

(3) 大学の施設の利用について

受講生は、帝京大学板橋キャンパスの学生用施設（図書館、大学院生室、ロッカー等）が利用できる。

6. 出願について

(1) 募集期間（締切日必着）

第1回：平成28年10月 3日（月） ～ 平成28年11月 4日（金）

第2回：平成28年12月12日（月） ～ 平成29年 1月27日（金）

(2) 出願書類

1	志 願 票	所定の用紙に、楷書で丁寧に記入すること。 所定欄にカラー証明写真1枚を貼付すること。 （出願前3ヶ月以内に撮影した脱帽上半身正面、 無背景、縦4cm×横3cm、裏面に氏名を記入）
2	卒業(修了) 証明書	最終学歴校の学校長等が作成したもの（卒業証 書等の写し可）
3	志 望 理 由 書	所定の用紙（A4サイズ）。下記事項について 1～2枚程度記入すること。 ① 過去の産業保健事例での取り組み経験、ま たは産業保健上、解決したい（取り組みた い）課題 ② 志望理由、自己PR
4	資 格 試 験 合 格 証 書	資格免許証書の写し（コピー）。
5	返 信 用 封 筒 （ 角 2 封 筒 ）	合否結果を通知する際に使用する。返信用封筒 に返信先の住所、宛名を記入し、速達郵便料の 切手（420円分）をあらかじめ貼付すること。

(3) 出願方法

原則郵送のみとする。出願書類一式を封筒に入れ、以下に郵送すること。

【郵 送 先】 〒173-8605 東京都板橋区加賀2-11-1

帝京大学 板橋キャンパス事務部教務課（公衆衛生学研究科担当）

(注意事項)

- ・ 送付する際は、必ず追跡確認のできる方法を取ること。追跡不可の方法で送った場合、未着等が発生しても大学は責任を負わない。
- ・ 出願は締切日必着とする。
- ・ 出願書類に不備があった場合は、充足されるまで選考は保留する。
- ・ 提出された出願書類は、理由のいかんを問わず返還しない。
- ・ 受講許可決定後でも、提出書類の記載に事実と相違する内容が発見された場合には、受講許可を取り消すことがある。この場合も出願書類は返還しない。

7. 選考および結果の通知

第1回：平成28年11月16日（水）

第2回：平成29年2月8日（水）

選考は、原則として出願書類をもって行う。ただし、必要に応じて、対面等での面接を行う場合がある。選考結果は合否にかかわらず通知文書を郵送する。

(注意事項)

- ・ 通知文書の発送から到着までに数日を要する場合がある。
- ・ 大学構内での掲示、電話による合否照会を行わない。

8. 受講手続きについて

合格者には、合格通知書類と一緒に「受講手続要項」を送付する。諸手続きについては「受講手続要項」にそって行うこと。

9. 納入金

受講料 1年目：150,000円

受講料 2年目：100,000円

(注意事項)

- ・ 1年目の受講料は受講手続き時、2年目の受講料は大学が定める所定の期日まで一括で納入すること。
- ・ 受講料の他、実習のための交通費等が必要な場合がある。
- ・ 保険は任意で加入できる。詳しくは、4月ガイダンス時に案内する。

10. 授業科目の概要（予定）

科目区分	授業科目	概要
必修科目	疫学概論	疫学研究方法論の基礎として、疫学の定義、因果関係の立証法、疫学研究の倫理指針にはじまり、基本的な疫学研究（記述研究、症例対照研究、コホート研究、介入研究、系統的レビュー等）、バイアスと交絡、実社会への疫学およびその結果の応用手法等に学ぶ。
	産業保健学	労働衛生関連法規や国の指針・通達の理解、労働衛生管理体制の確立、労働衛生マネジメントシステムの構築と運用、有害業務の自主的な管理の方法、健診の実施と事後措置、職場改善を含めた作業管理実務、より効果的な衛生教育の実施のための方法等を学ぶ。
	産業環境保健学実習	産業保健学の基本的な知識の上に立って、具体的な職場を取り上げ、職場巡視と安全衛生委員会（模擬）を通じて、作業環境管理、作業管理、健康管理、健康教育、総括管理などの視点から検討し、課題に対する対策提言についてグループによる討議と発表を行う。
	実践報告	年間を通して、指導教員の支援を受けながら、自身が直面している課題を問題解決型アプローチで取組み、解決策を提示する。中間報告会、最終報告会および報告書作成を通じて、論文作成やプレゼンテーションの能力向上も目的とする。

選択科目	基礎生物統計学	実例を中心として、医学研究で得られる様々なデータについて、無作為割付とデータの種類や分布の特徴を理解し、適切なデータの要約やグラフ表示の方法を学ぶ。また、推定（信頼区間）と仮説検定の概念、2群比較の方法、共変量の調整方法等を学ぶ。
	産業環境保健学概論	公衆衛生の実務家のために、基本的な産業保健の制度、法規、組織および産業中毒学の概要を学ぶ。また、環境保健の分野では、様々な環境中の有害要因による健康影響、環境からの有害影響別の対策について理解することを目的とする。
	産業中毒学	有害要因を化学的要因、物理的要因、生物学的要因、および心理社会的要因に分け、それぞれの特徴を把握するとともに、主な有害要因による健康障害、及びそのような曝露が発生する作業や状況とそれらによる健康障害を防止するための対策を学ぶ。
	リーダーシップ・マネジメント論	組織一般の理解を深めるために、一般の経営学を基礎にした学習、異なる視点からの討論を中心に講義を進める。これらの内容を通じて、公衆衛生分野で将来のリーダーとなるべき人材として必須の知識・技能を修得することを基本目標とする。
	健康教育学	健康教育の対象やフィールドを取り巻く諸条件を理解し、適切な健康教育プログラムを立案・実践・評価できる能力を身に着ける。また、健康教育の成功例や失敗例から、効果的かつ持続的に実施可能な健康教育プログラムのマネジメント能力を獲得する。
	メンタルヘルス専門職のスキルアップ	現在最大の課題となっている職場のメンタルヘルスの課題に対し、産業保健の専門家として必要な現場での実践力を獲得する。さらに、メンタルヘルスの課題対策を通し、職場全体の産業保健のアセスメント・マネジメントができる能力を獲得する。
	労働衛生技術の能力育成	作業環境の有害要因の測定および管理で現在行われている作業環境測定の仕事や排気システム、有害要因へのばく露レベルの測定方法について学習し、選択すべき対策方法を理解する。さらに、新規有害要因への対応としてのリスク管理の適用能力を獲得する。
	産業看護職マネジメント能力育成	産業看護職の基本的な考え方や役割、職域を対象にしたアセスメントの方法、対策の立案とマネジメントについて主に講義形式にて授業を行う。また、仮想的な事例を対象に、グループワーク形式にて、アセスメントを行い、具体的な対策づくりを行う
	産業環境保健学	ハーバード特別講義として冬季の集中講義として行う。ハーバード大学、オックスフォード大学等の産業環境保健学を専門とする講師による講義である。講義は英語で行うが、担当教員およびティーチングアシスタント（TA）による日本語の解説を行う。
	産業保健統括管理学	温熱測定、照度、騒音、粉じん、化学物質等についての基本的な職場環境アセスメントに関する実習を行う。また、産業保健マネジメントシステムの管理運営ができる総括的な能力育成のための講義および演習を行う。
特別セミナー (イブニングセミナー)	受講生、教員、本プログラム修了生、大学院学生、および外部の実践家・専門家等による特別講義を開催する。社会人および受講生以外の者も参加可能な時間（夕方以降）に開講し、参加者間の交流も図る。	

※選択科目は上記内容が一部変更となる場合がある。

帝京大学板橋キャンパス

〒173-8605 東京都板橋区加賀 2-1-1



- JR 埼京線
「十条駅」北口より徒歩 10 分
- 地下鉄都営三田線
「板橋本町駅」A1 出口より徒歩 13 分
- 国際興業バス
王子駅 ↔ 板橋駅
「帝京大学病院前」下車
赤羽駅西口 ↔ 王子駅
「上十条 4 丁目」下車徒歩 3 分
赤羽駅東口 ↔ 高円寺駅
「姥ヶ橋」下車徒歩 5 分
王子駅 ↔ 上板橋駅
「姥ヶ橋」下車徒歩 5 分
- 都営バス
王子駅 ↔ 新宿駅西口
「姥ヶ橋」下車徒歩 5 分
- タクシー
十条駅より基本料金内



平成29年度 帝京大学産業保健高度専門職養成の大学院プログラム 志願票

楷書で丁寧にお書きください。

フリガナ			申請番号	※		証明写真貼付欄 4cm×3cm			
氏名	印	性別		男 ・ 女					
		生年月日	昭和・平成 (西暦	年	月		日 歳)		
ローマ字表記									
現住所	〒 _____ 都道 府県								
電話	()		携帯	()					
e-mail									
学歴	(和暦)	年	月	高等学校 卒業					
	(和暦)	年	月						
	(和暦)	年	月						
	(和暦)	年	月						
	(和暦)	年	月						
職歴	(和暦)	年	月						
	(和暦)	年	月						
	(和暦)	年	月						
	(和暦)	年	月						
	(和暦)	年	月						
	(和暦)	年	月						
	(和暦)	年	月						
	(和暦)	年	月						
勤務先名				勤務先住所					
従事している産業保健実務									
産業関係資格該当すべてに○	保健師 / 看護師 / 労働衛生コンサルタント / 産業医 / 労働安全コンサルタント / 作業環境測定士 / 安全管理者 / 衛生管理者 / 臨床心理士 / 産業カウンセラー / その他()								
該当者記入	医療系国家資格等取得(見込)日	資格名			昭和 平成	年	月	日	取得
					昭和 平成	年	月	日	取得
					昭和 平成	年	月	日	取得
	英語資格取得日	TOEFL	点	TOEIC	点	昭和 平成	年	月	日
	IELTS		英検	級					
受講期間の希望	1年間 / 2年間								

※欄は大学で記入します。

志望理由書

帝京大学産業保健高度専門職養成の大学院プログラム

氏名	申請番号	※
①過去の産業保健事例での取り組み経験、または、産業保健上、解決したい(取り組みたい)課題 について記入してください。 ②志望理由、自己PR について記入してください。		

※欄は大学で記入します。